

弘前地区消防事務組合

この街を守るために!



Challenge Firefighter



職員採用案内 2023

弘前地区消防事務組合 組織図

職員数：436人

胸のマークは『消防士の5つの心』



赤色♥は「命を大切に作る心」
 黄色♥は「ひるまない心」
 緑色♥は「ふるさとを守る心」
 青色♥は「人を助ける心」
 ピンク♥は「家族を愛する心」



安心して職務に専念出来る給与待遇 (令和5年4月1日現在)

初任給	高卒	158,900円
	短大卒	169,800円
	大卒	191,700円

その他、各種諸手当があります。

災害出勤などにおける各種手当 (従事した1回分の手当)

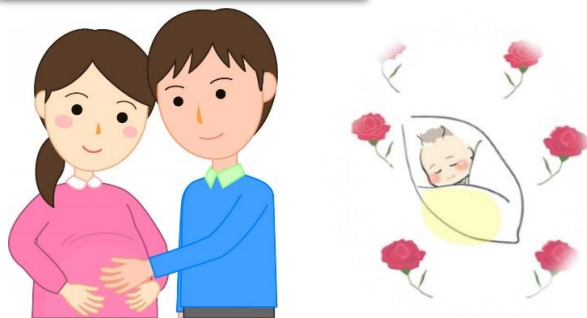
危険作業	400円	地上10メートル以上の箇所における作業等
		4階以上のビル火災や危険物取扱所などの消火作業に従事した場合
		空気呼吸器を着装して人命検索又は化学防護服を着装して作業に従事した場合
		潜水器具等を着用して潜水作業に従事した場合
		上記に掲げる作業と同等以上の危険性が認められるものなど
隔日勤務	250円	24時間勤務に職員が従事した場合
災害出勤	250円	火災、救急、救助及び各種災害防ぎよのために出勤した場合
機関	500円	消防自動車等の緊急走行運転業務に従事したとき
緊急援助隊等	1,680円	緊急消防援助隊の訓練参加や応援消防隊として災害出勤したとき
防疫	400円～	感染症等に対する救急、救助、移送などの業務に従事した場合
	4,000円	※防疫手当については、日額支給となる特例の業務に該当した場合があります。

生活における各種手当 (支給職員1人当たりの平均支給月額)

扶養	21,600円	配偶者及び子を扶養している職員に支給
通勤	5,800円	通勤のため、その通勤方法により職員に支給
児童	19,200円	中学校卒業までの児童を養育している職員に支給
住居	25,000円	住宅を借り受け、一定額(12,000円)を超える家賃を支払っている職員に支給
管理職	50,000円	管理又は監督の地位にある職員について、その職務の特殊性に基づき支給
寒冷地	15,000円	毎年11月から翌年3月までの各月の初日において在職する職員に対して支給

妊娠・出産・育児に関する制度

妊娠・出産



- ・産前休暇
- ・通勤緩和
- ・産後休暇
- ・軽易業務転換
- ・配偶者出産休暇
- など

育児



- ・育児休業
- ・育児短時間勤務
- ・部分休業
- ・子の看護休暇
- など

女性職員の業務従事状況

～ 私たちの働き方 ～

CASE 1 «毎日勤務» 8:30～17:00 消防本部勤務



CASE 2 «隔日勤務» 8:30～翌日8:30 消防署勤務



CASE 3 «育児休業» 子育て奮闘中



夫婦消防士の声 吹田翔吾(平成20年度採用) & 吹田麻里那(平成26年度採用)

Q、職場と家庭を両立するために気を付けている事はありますか？

体調を崩さないことを1番にしています。お互い子供と接する時間を長くするために、あえて家事の担当は決めず、手が空いてる方がやるようにしています。

Q、一緒に職場で困る事はありますか？

出産や育児に伴う休暇も充実しており、組織での理解も得られバックアップ体制も整っているので特別困る事はありません。

Q、休みの日はどんな事をしていますか？

夫婦共に休みの日は、家族の時間を大切に、子供達を連れて公園でのピクニックや、水族館へ行ったりしてリフレッシュしています。



Q、お子さんは、何人いますか？おいくつですか？

(令和5年4月1日現在)

3歳の長女と1歳の長男がいます。

Q、二人とも不在の場合、お子さんの対応を決めていますか？

私(母親・消防本部)が日勤なので、急な場合は対応しています。しかし、対応が出来ない場合は両親にお願いしようと考えています。その他、延長保育など様々なケースを考えて日頃から話し合いをしています。

Q、消防士を目指す学生達へ一言お願いします。

消防業務には火災予防、消火、救急、救助と様々な分野があります。男性、女性問わずたくさんの事にチャレンジすることが出来るので、やりがいのある仕事だと感じています。地域住民のため皆さんと一緒に仕事出来ることを楽しみにしています。



火の用心

夢を掴んだ現役消防士の声 中畑 翔 (令和3年度採用)

Q、なぜ消防士になろうと思ったのですか？

火災や交通事故、自然災害などが起きた際に、最前線で人命救助を行うことができるのは消防しかない！と思い消防士を目指しました。

Q、受験に備えて何か準備をしましたか？

勉強に関しては暗記するのではなく、事柄を理解することを意識し、トレーニングは採用試験の試験種目を毎日欠かさず行っていました。

面接試験は、緊張しない事を一番に意識して面接官との会話を楽しむ位の余裕を持つように心掛けていました。



Q、どのような消防士を目指していますか？

どんなに悲惨な現場であっても目を背ける事はせず、常に傷病者ファーストの心を持ち続ける消防士になります。これからも、初心を忘れず、日々努力・日々成長・日々感謝の気持ちで精進します。

Q、休みの日はどんな事をしていますか？

車が好きなので、山や海へドライブをしたり、天気の良い日は洗車をして休日を満喫しています。

消防の仕事は24時間勤務で疲れが溜まりやすいので、休みの日には趣味に没頭してリフレッシュしています。



Q、消防士となり、現在の心境を教えてください？

初めての火災現場で、火の熱さや煙で視界ゼロを感じた時は、恐怖で身体が動きませんでした。その中でも、先輩方は仲間を守り冷静に判断して活動していました。自分も早く一人前の消防士になりたい、日々訓練に励んでいます。

Q、受験生へ一言お願いします。

消防の試験は狭き門と言われています。合格通知書を手に入れるまで、自分自身を信じて頑張ってください。私は3回受験しました。1回目は一次不合格、2回目は二次不合格。それでも消防士になりたい！という熱い気持ちを持って夢を掴み取りました。皆さんも全身全霊で挑んでください。心の底から応援しています！



他消防から故郷消防へUターン消防士の声 齋藤理輝 (令和4年度採用)



Q、前の職場ではどのような業務をしていましたか？
東京消防庁でポンプ隊員兼ポンプ機関員として、約7年間勤務していました。

Q、いつ頃からUターン就職を考えてました？
結婚し子供が生まれた頃に、地方出身の先輩と地元の事を話した事をきっかけに、故郷を意識するようになりました。妻からも地元には親が近くにいるし、自然も多く子供の為にも良いと賛成してくれたので、受験を決意しました。

Q、Uターン転職について、誰かに相談しましたか？
妻や両親、職場の上司や先輩、また、弘前消防で働いている友人にも相談しました。最初は不安が多かったのですが、地元で働いた方が絶対に良いと背中を押してくれて、受験を決意する事が出来ました。大変感謝しています。何より！両親が一番喜んでくれています。

Q、前の職場と違いはありますか？

規模や人員に違いはありますが、人命救助の根本は何一つ変わらないので働きづらいつと感じた事はありません。ただ、勤務サイクルが3交替制から2交替制になった点が前職との違いだと思いますが、すぐに慣れると思います。また、前職では消防隊として勤務していましたが、立入検査や火災調査などの予防業務をあまりしていなかったため、それらを覚えることに苦労しています。

Q、家族や周りの変化などはありましたか？

地元に戻ってきた事で、自然も多く子供も毎日のように外で楽しそうに遊んでいます。一番感じる事は、私や妻の両親も孫といつでも会える距離になった事を喜んでくれています。



Q、Uターン就職を考えている現役消防官へ一言お願いします。

消防という仕事は変わらないので、すぐに職場に慣れると思います。また、弘前消防は様々な研修や資格取得に力を入れ人材育成に努めているため、更なるスキルアップを目指せます。最後に、皆さんが他消防本部で得た知識・技術・経験は決して無駄にならず生きてきます。その経験を積極的に還元していく事が出来れば、さらなる組織の発展につなげていけると思います。



弘前消防での各種訓練状況

警防活動時における熱中症対策訓練

火災対応のフル装着で、訓練塔階段の昇降及び屋外のランニングを20分間実施後、空気呼吸器の面体を装着し屋内検索及び要救助者引きずり救助を実施。



JR弘前駅におけるテロを想定した訓練

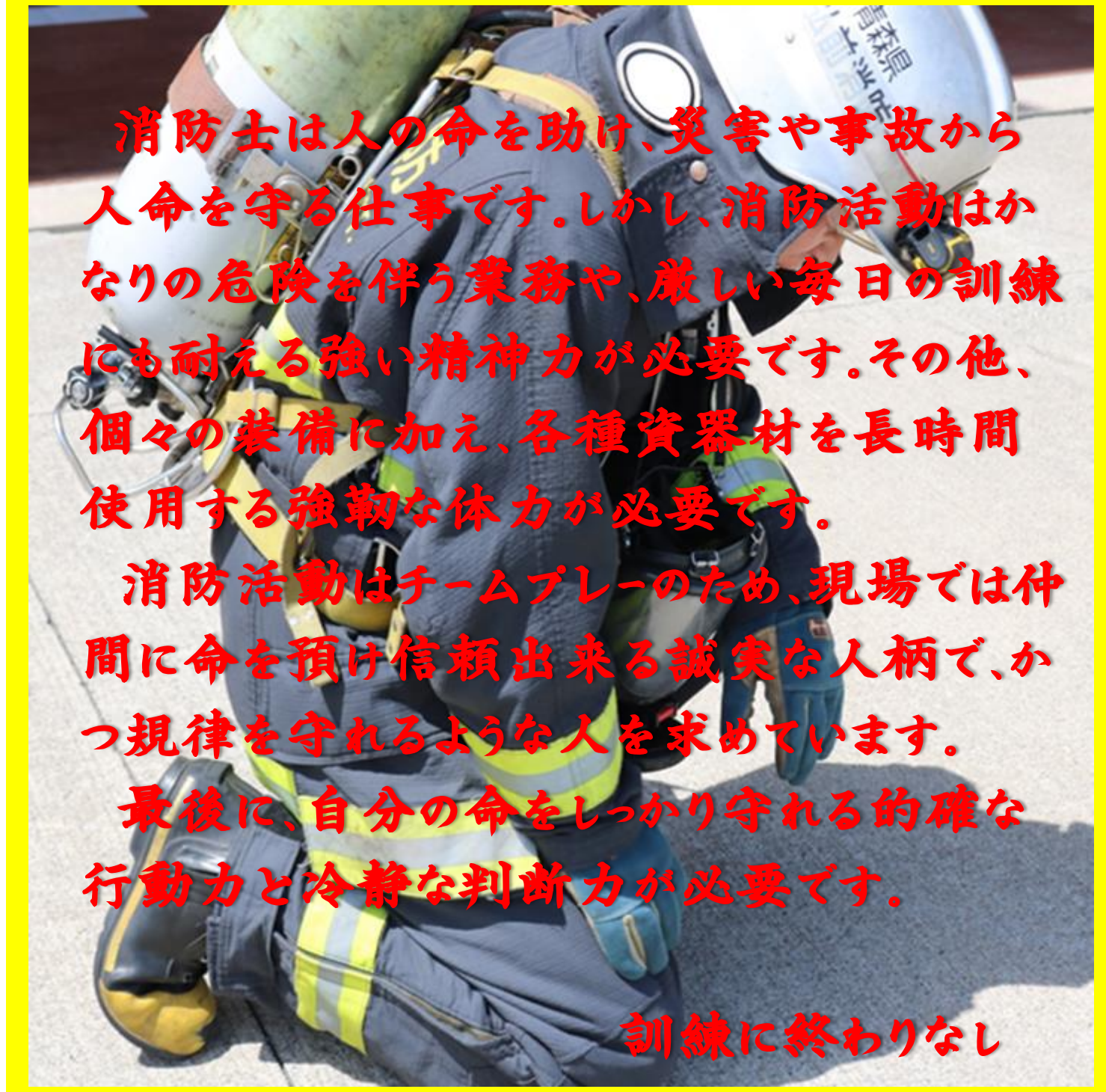
複合施設でテロを想定し、関係機関との特殊災害合同訓練を実施。



弘前地区消防事務組合 総合訓練

所属が異なる複数のチームが連携し日頃の訓練成果を披露します。参加した隊員からは「今回の訓練を地域の安全・安心につなげ、これからも訓練に励んでいきたい」との声が聞かれました。





消防士は人の命を助け、災害や事故から人命を守る仕事です。しかし、消防活動はかなりの危険を伴う業務や、厳しい毎日の訓練にも耐える強い精神力が必要です。その他、個々の装備に加え、各種資器材を長時間使用する強靱な体力が必要です。

消防活動はチームプレーのため、現場では仲間にも命を預け信頼出来る誠実な人柄で、かつ規律を守れるような人を求めています。

最後に、自分の命をしっかりと守れる的確な行動力と冷静な判断力が必要です。

訓練に終わりなし

弘前地区消防事務組合

採用試験に関する問い合わせ先：弘前地区消防事務組合 消防本部 人材育成課

TEL 0172-32-5109(平日の午前8時30分から午後5時まで)

TEL 0172-32-5101(代表)

〒036-8203 青森県弘前市大字本町2番地1

弘前地区消防事務組合ホームページ <http://www.hirosakifd.jp/>

